

第 19 回国立国会図書館契約等監視委員会議事概要

開催日及び形式	令和 8 年 6 月 9 日（火）15 時 00 分～17 時 00 分 Web 会議システムによるオンライン開催		
委員長及び委員	委員長 石田 晴美（文教大学経営学部教授、公認会計士） 委 員 小笠原 直（公認会計士） 委 員 奥 真美（東京都立大学都市環境学部都市政策科学科教授） 委 員 柳原 匠巳（公認会計士、税理士）		
議事の概要	・ 入札及び契約に係る手続の運用状況の報告 ・ 抽出結果の報告 ・ 抽出案件の説明及び審議		
審議対象契約期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日		
抽出案件	5 件	（備考）総数 296 件	
	競争入札（工事）	1 件	契 約 件 名：新館照明設備改修工事（令和 7 年度） 契 約 相 手 方：三菱電機システムサービス株式会社 契 約 金 額：112,200,000 円 契 約 締 結 日：令和 7 年 5 月 19 日 担 当 部 局：総務部会計課
	随意契約（工事）	1 件	契 約 件 名：関西館電話交換機設備改修工事（令和 7 年度） 契 約 相 手 方：協和テクノロジーズ株式会社 契 約 金 額：58,850,000 円 契 約 締 結 日：令和 7 年 7 月 10 日 担 当 部 局：関西館総務課
	競争入札(物品役務)	2 件	契 約 件 名：統合的オンラインサービスシステムの運用・保守・改修作業 1 式 契 約 相 手 方：キャップジェミニ株式会社 契 約 金 額：162,800,000 円 契 約 締 結 日：令和 7 年 4 月 1 日 担 当 部 局：総務部会計課
			契 約 件 名：事務用カラー複合機 61 台の購入 契 約 相 手 方：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 契 約 金 額：67 円 契 約 締 結 日：令和 7 年 12 月 5 日 担 当 部 局：総務部会計課
	随意契約(物品役務)	1 件	契 約 件 名：ジャパンナレッジLibの利用 契 約 相 手 方：株式会社紀伊國屋書店 契 約 金 額：4,854,911 円 契 約 締 結 日：令和 7 年 4 月 1 日 担 当 部 局：収集書誌部
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告	なし		

別紙

【新館照明設備改修工事（令和7年度）】	
主な意見・質問	回答等
・工賃や人件費が高騰している状況の中で、落札率が57%と低く、低入札価格調査に至ることとなった理由はあるか。 ・3社から見積りを取得し、その中で最も安いものを参考に予定価格を算定したのか。 ・見積りをきちんと取り査定率をかけても低価格入札という結果になり、調査のコストもかかっている。予定価格はより下げるべきだったと考えるか。 ・総合評価落札方式では、どのような点を評価対象としているのか。また、総合評価落札方式にしたのはルールに基づくものか。	・物品の比率が高く、既製品を使う案件では入札金額を下げてくる傾向がある。また、取引数量が大きい場合は市場価格よりも下げることができ、安く応札できたのではないかと考えている。 ・3社の中で最も安かった見積りを基にした上で、前年度の類似案件を参考に、通常より低く設定した。 ・製品費に連動する部分の算定を見直すなどして、予定価格を更に下げるという考え方もあるが、不調となるリスクも出てくるため、これ以上予定価格を下げることは考えていない。動向を注視した上で、入札結果に応じて低入札価格調査を行い、受託者を決定することが適切と考える。 ・技術面や実績などを評価項目として設定した。2000万円を超える工事は総合評価落札方式とするルールになっている。

【関西館電話交換機設備改修工事（令和7年度）】	
主な意見・質問	回答等
・この案件は単年度契約か。 ・保守契約において一者入札を避ける改善策としては、使用している製品を扱える業者を広く探すということが考えられるか。 ・見積りを1社からしか取得できなかったとのことだが、これは依頼をしていないのか、あるいは断られたのか。 ・参考見積りに査定率をかけて予定価格を算定したことについて合理性はあるか。提示された価格が合理的であれば、機械的に査定率をかけるようなことは不要ではないか。 ・自治体では、複数の参考見積りを取ることをルール化しているところもある。例外規定は設けた上で、原則としては複数から取るとをルール化することを検討するとよいのではないか。	・工事は単年度契約で完了しており、保守は毎年入札を行っている。 ・御指摘のとおり、設置されている製品を扱える業者に広く声をかけるよう努める。 ・1社のみに依頼していた。また、公告後に提出を義務付けている参考見積書については、入札説明書等を配布した別の2社が、入札参加を見送ったため徴取できなかった。 ・取得できた公告前の見積りが1社だったため、類似案件の実績を参考にして査定率をかけた。本件の結果も考慮して、案件ごとに検討していくこととしたい。 ・ご指摘内容を踏まえて、今後検討を行いたい。

【統合的オンラインサービスシステムの運用・保守・改修作業 1式】	
主な意見・質問	回答等
・資料請求をした業者は複数いるが、入札には参加しなかったことの理由として何か考えられるか。 ・このシステムは構築からどのくらい経ち、どのくらい一者入札が続いているのか。背景を説明してほしい。 ・随意契約にはできない性質のものか。また、一者入札にならないよう改善策はあるか。	・一般利用者向けウェブサービスの運用保守実績がなく慎重になったこと、規模が大きく大きなリソースを要するため他の案件が優先されたこと、資料を読み込む時間が足りず社内調整が間に合わなかったことなどが考えられる。複数のサブシステムを統合した複雑なシステムのため、ハードルが高いことが推測される。 ・令和4年度に調査及びプロトタイプの構築を調達し、その後、開発の調達を行って、令和6年度から稼働している。初年度の調査に関しては複数者の入札参加があった。 ・技術的、権利的に他業者が受託できないような特殊性はないため、随意契約とはできない。改善策としては、資料の

・体制図にある他の 3 システムの受託状況はどうなっているか。業者間での住み分けや固定化は起きていないか。	閲覧期間を長く設けること等により、新規参入を促していきたい。 ・1 つは同じ業者、あと 2 つはそれぞれ別の業者である。これら以外のそれほど規模の大きくないシステムであれば、比較的、複数者の入札参加があり、交代も起きやすい傾向にある。
---	--

【事務用カラー複合機 6 1 台の購入】	
主な意見・質問	回答等
・コピー機本体の購入と、消耗品の購入や保守費のトータルで判断すべきと考えるが、今後、検討の予定はあるか。 ・保守契約をせずに、消耗品だけ購入するような契約方法は考えられるか。 ・低価格入札調査は不要か。 ・実態として、購入と保守を切り離すことが難しいのであれば、やはりそれを前提とした入札内容にすべきと考える。また、購入ではなく賃貸借契約とすることもありえるのではないか。 ・大学では、より安価に運用でき、コピー機に劣らない質のカラー印刷機を導入している事例もある。技術は日進月歩であり、機種についても視野を広げて検討するとよい。	・当初、保守契約も含めた形も検討したが、その場合、複数年度にまたがる契約となる。そのための予算上の裏付けがない状況であったため、今回は単年度の契約による購入のみとした。次回以降は、他省庁の例も参考に、保守と物品代を含めた総価格での調達を検討したい。 ・ヒアリングを行ったところ、消耗品の購入と保守を切り離して契約できる業者はほぼなかったため、難しいと考える。 ・物品の購入の場合は不要である。 ・調達ポータルを確認した限りでは、他省庁では、賃貸借契約としている例が多かった。こうした事例も参考に、予算措置を行った上で賃貸借についても排除せず、複数年契約を前提に検討していきたい。 ・次回以降の調達においては、機器に必要な要件を精査し、合致する機種を幅広く候補として検討する。

【ジャパンナレッジ L i b の利用】	
主な意見・質問	回答等
・このデータベースはいつから契約しているか。 ・他事業者の参入がありえる性質のものではないため、随意契約ということか。 ・最初から参考見積りを取って予定価格を設定することも考えられるのではないか。 ・毎回ホームページ公表価格が予定価格で落札率が低い。他の図書館の契約状況等を調査するなど、適切な予定価格の設定を検討されたい。 ・利用数はどのくらいか。代替できるデータベースを検討したことはあるか。他との比較は重要であるので、効果や利用頻度、生成 AI の発展等の変化を考慮して、引き続き検討されたい。	・2007 年から契約しており、予定価格との差については同じような状況である。 ・データベース事業者との間で販売総代理店契約が結ばれており、他の業者が入ることはできない。 ・見積りを出せるところが 1 社しかないため、当該社からの見積額よりも、一般に公表されている価格を基準としたほうが公平で分かりやすいと考え、ホームページで公表されている価格を基準としている。 ・状況調査を行い、適切な予定価格の設定方法を検討する。 ・年間約 2 万ログインの利用があり、ここ数年、ほぼ同規模で推移している。このデータベースはコンテンツ数が多く、カバーする範囲が広いため、現時点では他に切り替える想定はないが、利用数の把握や検討は継続していきたい。